

《ふりかえり もんだい9》

□の中^{なか}に入る^{はい}ひらがなを、あとの（ ）の中^{なか}からさがして書^かこう。

花がさいてみができるのは、み

中に

できたたねでなま

ふやすためです。

たねができあがるまで、けもの

とり

などに食べられたり、雨がかってくさったり

してはたいへんです。クリ

するどい

はりのきものをきて、てき

たべられ

るのをふせいでいるのです。

（はをやはのにで）

つぎの上^{うへ}のことばにつづくことばを下^{した}からさがして、
せんでおすぼう。ただし、おなじことばは一^{いち}どしかつ
かえません。

① 日^ひが

・

・はずむ

② うでが

・

・かなう

③ ねがい

・

・すすむ

④ はなしが

・

・くれる

⑤ ぶんきょうが

・

・よむ

⑥ すきなほんを

・

・あがる

つぎの^じかん字とはんたいの^じいみの^じかん字を、^{した}下からさがして、せんでむすぼう。ただし、おなじことは一どしかつかえません。

上がる・

・小さい

左・

・少ない

多い・

・女

大きい・

・下がる

男・

・右

つぎの^{うえ}ことばにつづくことばをします。□の中にアからウを書こう。ただし、おなじことは一どしかつかえません。

① よういができました。では、さっそく

② ずっと やっていたので、すっかり

③ いっしょうけんめいなのに、なかなか

④ いいときにくた。いまからちようど

ア おわりました。

イ はじまるところです。

ウ はじめましょう。

エ おわりません。

つぎの 文^{ぶん}しょうをよんでといに答^{こた}えよう。

きのう、小学校^{しょうがっこう}のかえりみちで、しんちゃんが
 いいました。「すごいんだぞ。^①あいつ、うさぎを
 三^{さん}びきもかってんだから。あしたの日^{にち}よう日^び、つ
 れてってやるから、八^{はち}じにバスでいにい。だれ
 にもいうな。」ゆうくんは、しんちゃんのもとだ
 ちにあったことがありません。でも、うさぎとき
 いて、おもわず「行く。」といってしまったので
 す。しんちゃんは、ゆうくんとおなじ一年生^{いちねんせい}なの
 にずっとせがたかく、^②まるでおにいさんみたいに
 見^みえます。どこへだってひとりで 出^でか
 けることができます。そんなしんちゃんとふたり
 だけでバスにのり、とおくまで行くのです。それ
 はもううれしくて、あさごはんがすむと、おこづ
 かいをぜんぶもって家^{いえ}をとび出^だしてきました。そ
 れなのに、しんちゃんはやってきません。やくそ
 くのじかんから、もう一^{いち}じかんがすぎました。ま
 えのパンやさんのとけいが、 じをさしていま
 す。ゆうくんは、しんぱいになってきました。

(1) —せん①「あいつ」とありますが、だれのこと
 をいっているのですか。アからウからえらぼう。

ア しんちゃん

イ ゆうくん

ウ しんちゃんのもとだち

(2) —せん②「まるでおにいさんみたいに見^みえます」
 とありますが、しんちゃんのどんなところがおにい
 さんのようにかんじられるのですか。□の中^{なか}に入^{はい}る
 ことばを書^かこう。

ゆうくと

なのに、

たかいから。

(3) の中には、次のアからエのどの
ことが入りますか。ただしものをえらぼう。

ア おどろいて イ さっさと

ウ こっそり エ おもいきり

(4) —せん③「うれしくて」とありますが、ゆうくんがいちばんうれしかったのは、どんなことですか。アからウからえらぼう。

ア しんちゃんのとみだちにあえること。

イ うさぎを三びきも見にいけること。

ウ しんちゃんとふたりだけでバスにのって
出かけること。

(5) もういちど、—せん③「うれしくて」とありますが、ゆうくんがうれしくてたまらないでいることは、ゆうくんのどんなようすからわかりますか。□の中に書こう。

(6) の中には、あるすうじ(じかん)が入ります。ただしすうじをかんがえて書こう。

じ

つぎの 文^{ぶん}しょうをよんでといに答^{こた}えよう。

① ピッチはおそろおそろあいつにちかづく^②と、おもいきって言^いってみた。「きみきみ、どうしてまだ^③ここに^④いるんだい。」すると、「ああ。」と、あいつはつぶやいた。ピッチはもう一^{いち}どゆうきをだして、「いったいきみはだれなんだい。どんなにんげんなの。」ときいた。「ああ、ぼくはにんげんじゃあないんだよ、かかしさ。」あいつは、げんきなくこたえた。「かかし？」そのとき、あいつの目^めからぼちとなみだがこぼれた。かかしはしずかにはなしはじめた。「ぼくはにんげんにつくられたのさ。そしてきみたちを、おいちらすやくめをいつかつたんだ。だけどあきのおわりになると、にんげんは^⑤ようのなくなつた^⑥ぼくをおいてつたのさ。それからさむい^⑦がきて、ほんとうの一人^{ひとり}ぼっちになつてしまつたんだよ。ぼくはうごけないのさ。ほんとうはきみたちからすがうらやましかつたんだ。」ピッチはかかしのはなしをきいてびつくりした。「そうなのか。」
⑤ ピッチは、なんだかかかしがかわいそうになつて

きた。

そして、かかしのためになにかしてあげたいともうようになつた。「それじゃあ、きみはいまどうしたいんだい？」すると、かかしは「ぼくはとびたいんだ！」ピッチからはなしをきいて、なかつた。またちもかかしのところへあつまつてきた。

(一) — せん① 「ピッチ」とありますが、ピッチとはなんですか。アからイからえらぼう。

ア にんげん
イ かかし

(二) — せん② 「おそろおそろ」とありますが、ピッチのどんなようすをあらわしていますか。アからウからえらぼう。

ア みつからないようにこっそりちかづくようす
イ こわいきもちをおさえながらちかづくようす
ウ こわいかおをしてちかづくようす

(3) ピッチは、「あいつ」のことを、はじめはなんだとおもっていましたか。アからイからえらぼう。

ア にんげん
イ かかし

(4) ―せん③「ここ」とありますが、どこのことですか。アからエからえらぼう。

ア たんぼの中なか
イ 森の中もりなか
ウ 川の中かわなか
エ いえのまえ

(5) 「あいつ」は、なにを、どうするやくめをもっていましたか。□の中なかに入ることばを書こう。

(7) にあてはまるきせつをアからエからえらぼう。

ア はる
イ なつ
ウ あき
エ ふゆ

(6) ―せん④「ようのなくなった」とありますが、おなじいみのことばを、アからウからえらぼう。

ア こわれてしまった
イ よごれてしまった
ウ いらなくなった

やくめをもっている。

(8) ―せん⑤「ピッチは、なんだかかしがかわいそうになってきた」とありますが、ピッチはどうしてかしがかわいそうになってきたのですか。□の中なかに入はいることを書かこう。

なると、

ようのなくなった

は

から。

(9)

にあてはまることを、アからエからえらぼう。

ア もうたのしくはなかった。

イ もうこわくはなかった。

ウ もうしかたないとおもった。

エ もうおこっではいなかった